お手入れ

■本機が汚れたら
柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■テープを良い音でお楽しみいただくために
定期的に市販のクリーニングテープを使って、清掃されることをおすすめします。

保管（テープ）

■次のような場所に置かない
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

愛情点検 長年ご使用のステレオラジオカセットレコーダーの点検を!

こんな症状はありませんか	症状		対応
こんな症状はありませんか	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 音が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● その他の異常や故障がある	▶	このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

主な仕様

受信周波数：FM:76.0～108.0 MHz, TV1～3 ch
AM:525～1629 kHz
トラック方式：ステレオ
録音方式：ACバイアス
消去方式：マグネット消去
モニター方式：バリアブル
周波数範囲：(ノーマルポジション) 80～6300 Hz (JEITA)
入力端子：マイク：3.5 mm　M3ステレオ（プラグインパワー方式）
出力端子：ヘッドホン：3.5 mm　M3ステレオ
実用最大出力(DC)：0.5 W + 0.5 W(JEITA)
電源：ACアダプター：DC6 V
乾電池：　DC6 V（単三形乾電池×4本）
消費電力(AC)：5 W (JEITA)
最大外形寸法：251(W)×99(H)×49.5(D) (JEITA)
質量：約679 g（乾電池含む）
約608 g（乾電池含まず）
電池持続時間：(JEITA)

	ナショナルネオ（黒）乾電池（R6PU）	パナソニックアルカリ乾電池（LR6）
テープ再生時	約3.5時間	約12時間
ラジオ受信時	約7時間	約23時間
マイク録音時	約3.5時間	約15時間
ラジオ録音時	約3時間	約10時間

テープ/ラジオ切換つまみが“電源切”時の消費電力：1.5 W（ACのとき）

お願い
- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
- 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

Panasonic®

ステレオラジオカセットレコーダー
取扱説明書

品番　RX-TS10

付属品：AC アダプター
買い替えの際は、別売り品RP−AC61Bをお買い求めください。形状は付属品と異なりますが、仕様は同じです。

お願い
付属の AC アダプターは本機専用です。他の機器に使用しないでください。

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
■ この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書付き　上手に使って上手に節電

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	RX-TS10
販売店名	☎（　　）　－		
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－		

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQTT0467-5S　H0202HM5025

Panasonic　持込修理

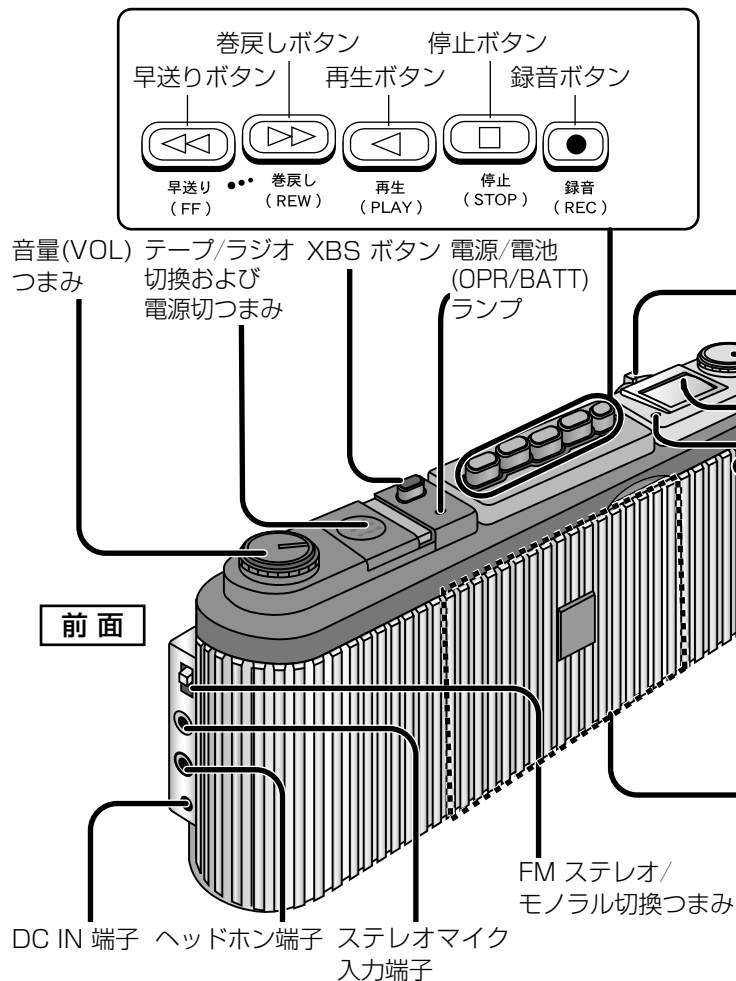
パナソニック音響製品保証書

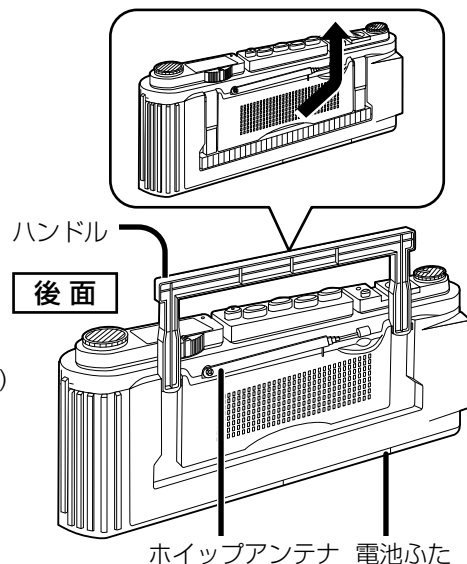
本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問合せは、お買い上げの販売店にご相談ください。詳細は裏面をご参照ください。

品　番	RX-TS10
保証期間	お買い上げ日から 本体1年間
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　様 電　話（　　）　－
※販売店	住所・氏名 電話（　　）　－

松下電器産業株式会社
パナソニックAVCネットワークス社
ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号　TEL (06) 6908-1551

ご販売店さまへ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

各部のなまえ

各部の表示は、本体の色により異なります。

- **本書は、日本語表示を中心に説明しています。**
- **英語表示は、(　) で説明しています。**
  例：同調（TUNED）ランプ

ハンドルを出すときは、ホイップアンテナを上図のように元に戻してください。

<無料修理規定>

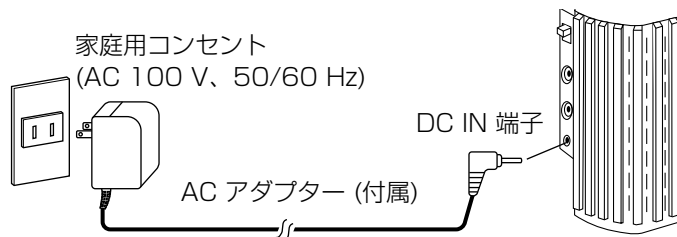
1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
   （ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
   （ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷（ただし、ポータブルCDプレーヤーなどの車載を目的とした機器を車両に搭載された場合は無料）
   （ホ）一般家庭用以外（例えば、業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
   （ヘ）本書のご添付がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   （チ）持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。取扱説明書に記載がない場合は、同梱別紙の一覧表をご参照ください。

修理メモ

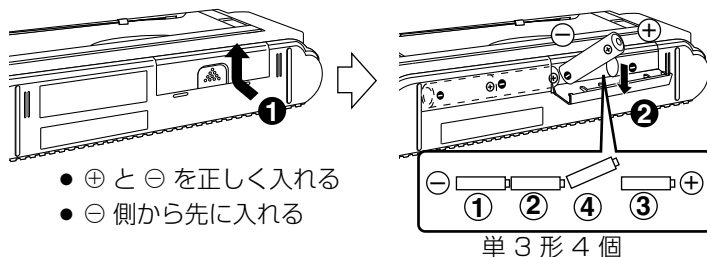
※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.

電源の準備

家庭用コンセントまたは別売りの単 3 形乾電池が使えます。

家庭用コンセントで

- 長期間使用しないときは、AC アダプターをコンセントから抜いてください。テープ/ラジオ切換つまみが“電源切”の状態でも約1.5 W の電力を消費しています。

乾電池 (別売り) で

本機底面の電池ふたをあけ、下図のように乾電池を入れる

AC アダプターを本機から抜くと、乾電池電源に切り換わります。

乾電池の交換時期

テープ再生中、電源/電池(OPR/BATT)ランプが暗くなったり消えたときは、電池をすべて交換してください。

ラジオを聞く

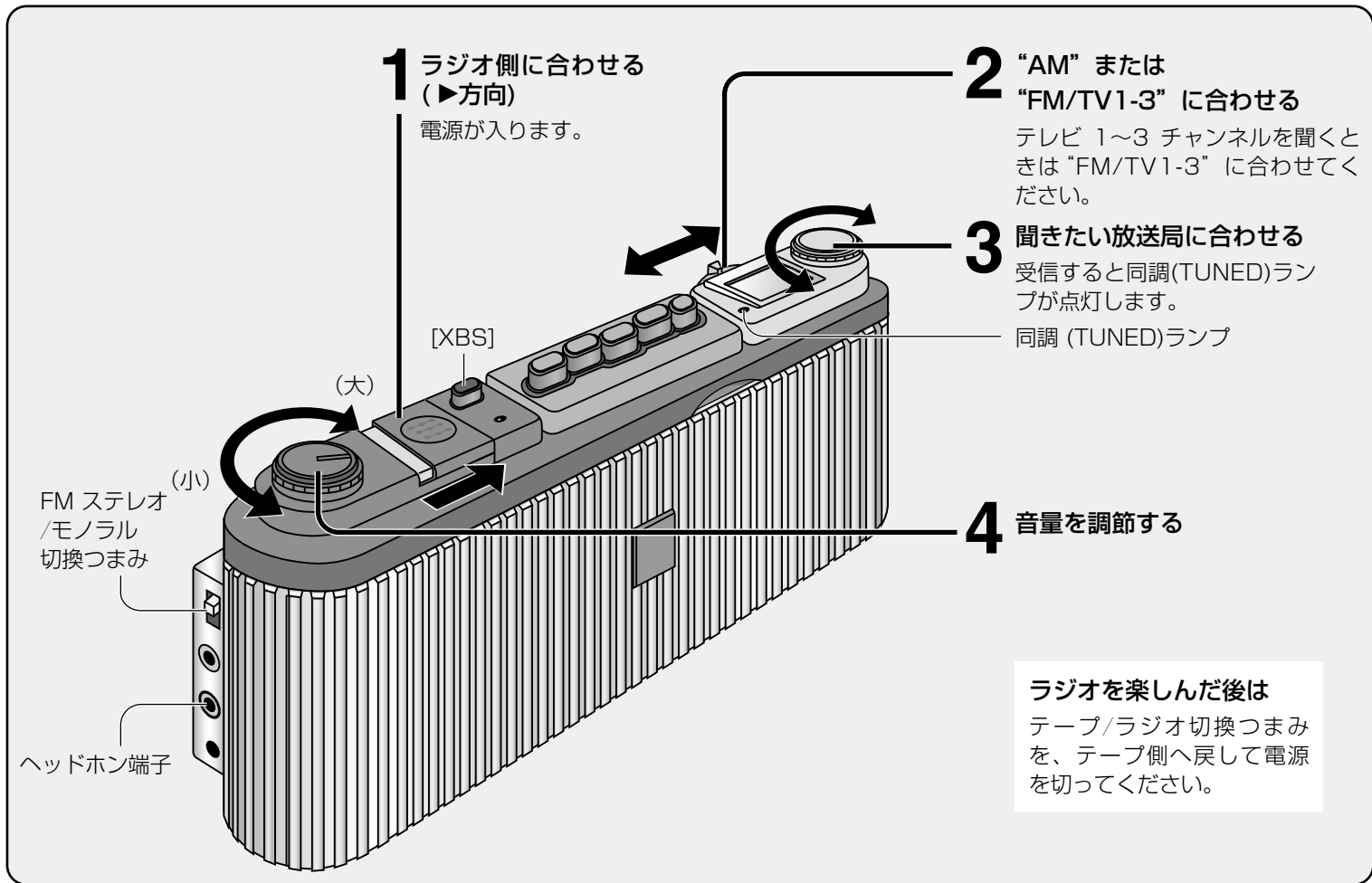
1 ラジオ側に合わせる
(▶方向)
電源が入ります。

2 “AM”または
“FM/TV1-3”に合わせる
テレビ 1〜3 チャンネルを聞くときは“FM/TV1-3”に合わせてください。

3 聞きたい放送局に合わせる
受信すると同調(TUNED)ランプが点灯します。

4 音量を調節する

[XBS]
(大)
(小)
FM ステレオ/モノラル切換つまみ
ヘッドホン端子
同調 (TUNED)ランプ

ラジオを楽しんだ後は
テープ/ラジオ切換つまみを、テープ側へ戻して電源を切ってください。

■低音を強調するには

[XBS] ボタンを押して“▬入 (ON)”にする。
元に戻すには、再度押して“■切 (OFF)”にしてください。

■FM ステレオ放送で雑音が多いときは

FM ステレオ/モノラル切換つまみを、モノラル側へ切り換える
音声はモノラルになりますが、雑音が減って聞きやすくなります。通常はステレオ側にしておいてください。

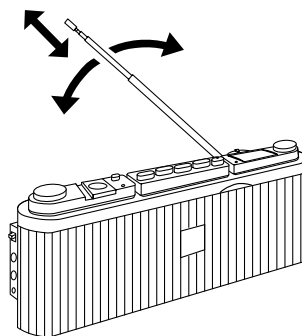
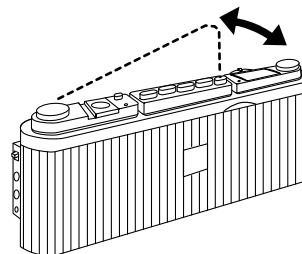
■ヘッドホンで聞くには

- 接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。
- プラグタイプ：ステレオミニ（M3）

お知らせ

- 本機の TV 受信回路は FM 受信回路と兼用しています。このため、地域によっては TV の 2 または 3 チャンネルの音声受信時に、FM 放送が混信することがあります。
- 乗物や建物の中では電波が弱まるため、放送が聞こえにくくなることがあります。できるだけ窓際でお聞き下さい。

■アンテナの調整方法

FM/TV 放送のとき
ホイップアンテナの長さと向きを調整する。

AM放送のとき
本体の向きを調整する。

テープを聞く

ノーマルポジション (TYPE Ⅰ) のテープが使えます。

1 テープ側に合わせる
(◀ 方向)

[■停止 (STOP)]

[▶▶巻戻し (REW)]

[◀◀早送り (FF)]

[XBS]

(大)

(小)

ヘッドホン端子

2 カセットふたを開けて、
カセットを入れる

テープの巻取りは矢印の方向になります。

テープが見える方を上に

再生面

ガイドに合わせる

入れた後、閉めてください。

3 押して再生を始める
押すと電源が入ります。

4 音量を調節する

再生を止めるには
[■停止 (STOP)] を押す
電源も切れます。

■正しく再生できるテープ

Normal position/TYPE Ⅰ (ノーマルポジション)	○
High position/TYPE Ⅱ (ハイポジション)	×
Metal position/TYPE Ⅳ (メタルポジション)	×

本機では、ハイポジション、メタルポジションテープを再生しても、その特性をいかすことができません。

■低音を強調するには

[XBS] ボタンを押して"▬入 (ON)"にする。
元に戻すには、再度押して"▬切 (OFF)"にしてください。

■早送り/巻戻しをするには

[◀◀早送り (FF)] または [▶▶巻戻し (REW)] を押す。
早送り・巻戻し中にテープが終端まで来たとき、ボタンを元に戻すには[■停止 (STOP)]を押す。

■ヘッドホンで聞くには

- 接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。
- プラグタイプ：ステレオミニ（M3）

お願い

テープのたるみは巻き取ってから使用してください。テープに傷が付いたり、切れる原因になります。

■テープについて

100 分以上のテープについて
テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。(回転部に巻き込まれることがあります)

エンドレステープについて
使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープについている使用説明をお読みください。

大切な録音を誤って消さないために
ドライバーなどでつめを折り取ってください。

- **もう一度録音するには**
  つめを折り取った部分にセロハンテープなどを貼って穴をふさいでください。

セロハンテープなど

録音する

ノーマルポジション (TYPE Ⅰ) のテープが使えます。

ラジオ (テレビ 1～3 ch) を録音するには

1 カセットふたを開けて、カセットを入れる

入れた後、閉めてください。

リーダーテープ部はあらかじめ巻き取っておいてください。

録音面

テープの巻取りは矢印の方向になります。

2 ラジオ側に合わせる (▶方向)

3 "AM" または "FM/TV1-3" に合わせる

4 録音したい放送局に合わせる

[■停止(STOP)]

内蔵マイクの位置

5 押して録音を始める

再生ボタンも同時に押し込まれます。

おもて面の録音が終了すると録音が止まり、ボタンは元に戻ります。

FM ステレオ／モノラル切換つまみ

録音を止めるには

[■停止 (STOP)] を押す

外部音声を録音するには

録音準備

1.カセットテープを入れる

2.テープ／ラジオ切換つまみをテープの位置に合わせる

■内蔵マイクで録音するときは

[●録音 (REC)]ボタンを押して、内蔵マイクを音源に向けて録音する。

■マイク入力端子から録音するときは

① マイクを、本機のステレオマイク入力端子に接続する。

② [●録音 (REC)]ボタンを押して、マイクから録音する。

スピーカーから録音中の音が出ます。

- プラグタイプ：ステレオミニ (M3)
- 推奨品：RP-VC200 (プラグインパワー方式)
RP-VC300
(ともに別売り)

お知らせ

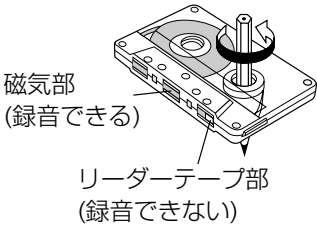
- 音量や音質は変更できますが、録音には影響しません。
- 録音レベルは自動的に調整されます。
- 内蔵マイクで録音中は、スピーカーから音が出ません。

■正しく録音できるテープ

ノーマルポジション Normal position/TYPE Ⅰ	○
ハイポジション High position/TYPE Ⅱ	×
メタルポジション Metal position/TYPE Ⅳ	×

本機では、ハイポジション、メタルポジションテープを使っても、正しく録音・消去できません。

■リーダーテープについて

テープの端のリーダーテープ部 (色の違う部分) を巻き取っておかないと、録音の始めが切れます。

■AM放送録音中に雑音が多いときは

録音中に、FM ステレオ/モノラル切換つまみを雑音の少ないほうに切り換える。

■うら面に録音するには

カセットを裏返して、録音する。

別売り品の品番は、2002年2月現在のものです。品番は変更されることがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

電池について

⚠ 注意

■ 電池は正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

■ 電池は誤った使いかたをしない

- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

雷について

警告

■ 雷が鳴ったら、アンテナや機器、プラグに触れない

- 感電の恐れがあります。

AC アダプターについて

⚠ 警告

■ プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ ぬれた手で、AC アダプターの抜き差しはしない

- 感電の原因になります。

■ コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■ プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
  AC アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、AC アダプターを抜いてください。

⚠ 注意

■ 抜き差しは AC アダプター本体を持つ

- コードを引っ張ると、コードが傷ついたり、ちぎれたりし、火災や感電の原因になることがあります。

■ 付属の AC アダプターを使う

- 指定以外の AC アダプターを使用すると火災や感電の原因になります。

警告

■ 分解、改造したりしない

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 点検や修理は、販売店へご依頼ください。

■ 機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

注意

■ 異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 夏の閉め切った自動車内や、直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

■ 油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

■ 放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

■ 不安定な場所に置かない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

■ コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

■ ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ アンテナを伸ばしたまま持ち運ばない

- アンテナがものに引っかかったり、当たったりして、けがの原因になることがあります。

故障かな！？

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください。
テープ部	テープが走行しない。	● 乾電池が消耗していませんか？ ● 乾電池の入れかたが間違っていませんか？
	録音できない。	● カセットテープの録音消去防止用のつめが折れていませんか？
	雑音が多く、音質がよくない。	● ヘッドが汚れていませんか？
ラジオ部	雑音が多く,うまく選局できない。	● アンテナの向きなどが悪くないですか？
	雑音が入る。	● 他の機器のリモコンを近くで使用していませんか？ ● テレビと同時に使用していませんか？

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎(03) 3481-2121	静岡支部	☎(054) 254-2621
北海道支部	☎(011) 221-5088	中部支部	☎(052) 583-7590
盛岡支部	☎(019) 652-3201	北陸支部	☎(076) 221-3602
仙台支部	☎(022) 264-2266	京都支部	☎(075) 251-0134
長野支部	☎(026) 225-7111	大阪支部	☎(06) 6244-0351
大宮支部	☎(048) 643-5461	神戸支部	☎(078) 322-0561
上野支部	☎(03) 3832-1033	中国支部	☎(082) 249-6362
東京支部	☎(03) 3562-4455	四国支部	☎(087) 821-9191
西東京支部	☎(03) 3232-8301	九州支部	☎(092) 441-2285
東京イベント・コンサート支部	☎(03) 5286-1671	鹿児島支部	☎(099) 224-6211
立川支部	☎(042) 529-1500	那覇支部	☎(098) 863-1228
横浜支部	☎(045) 662-6551		

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

使用上のお願い

- 雨に濡れると故障の原因となりますので、避けてください。
- 本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書(表紙の下をご覧ください)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社はステレオラジオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

13ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず AC アダプターを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
品名	ステレオラジオカセットレコーダー	お買い上げ日	年　月　日
品番	RX-TS10	故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、ナショナル パナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
   なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時
電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（バナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

北海道地区

地域	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地域	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0105